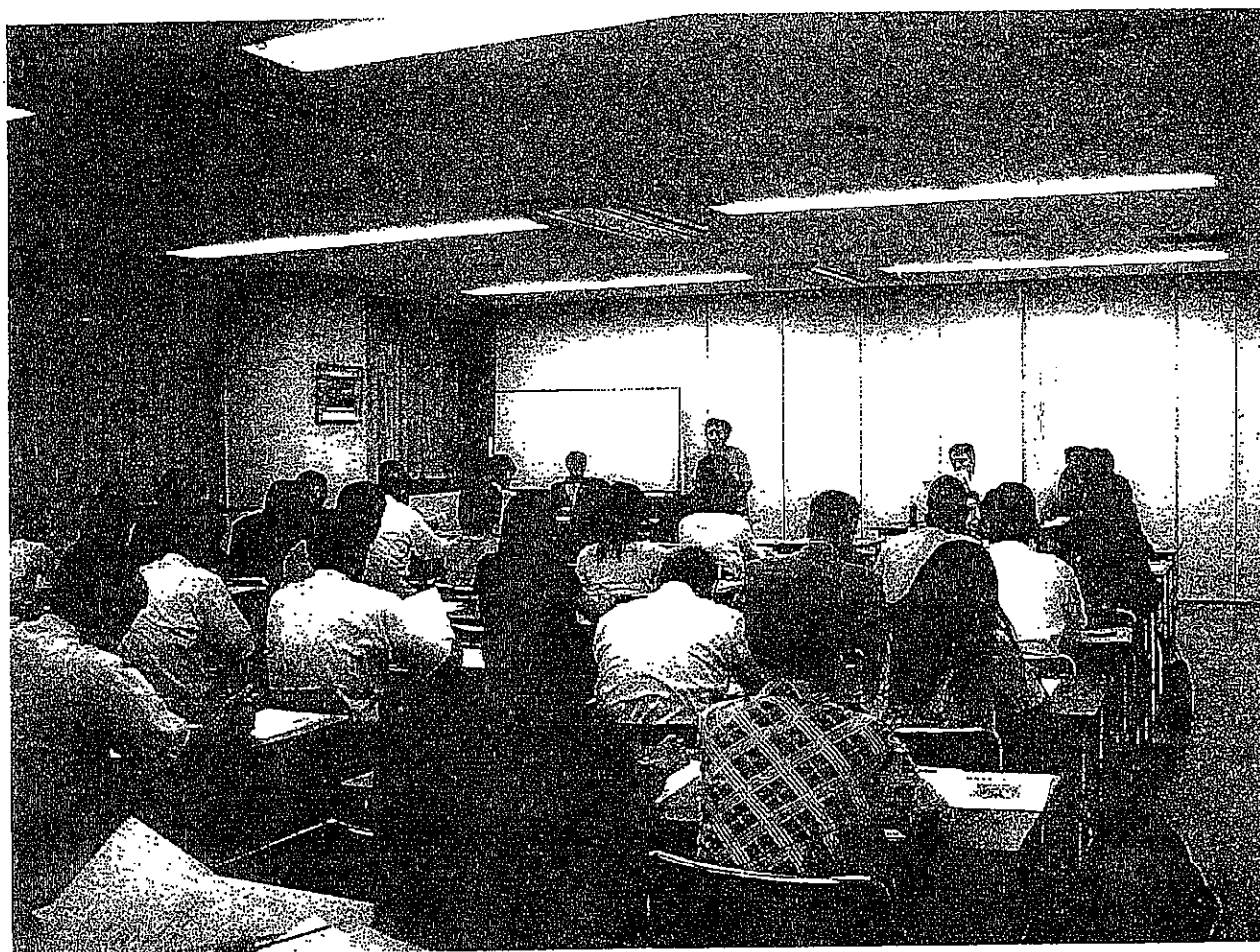


認知症サポーター 100万人キャラバン

職域ごとの認知症サポーター講座

2005年7月8日
近江八幡市健康推進課

一般企業（製造・販売業）の場合



【アンケートの感想】

○認知症は単なる老化ではなく病気だということを学んだ

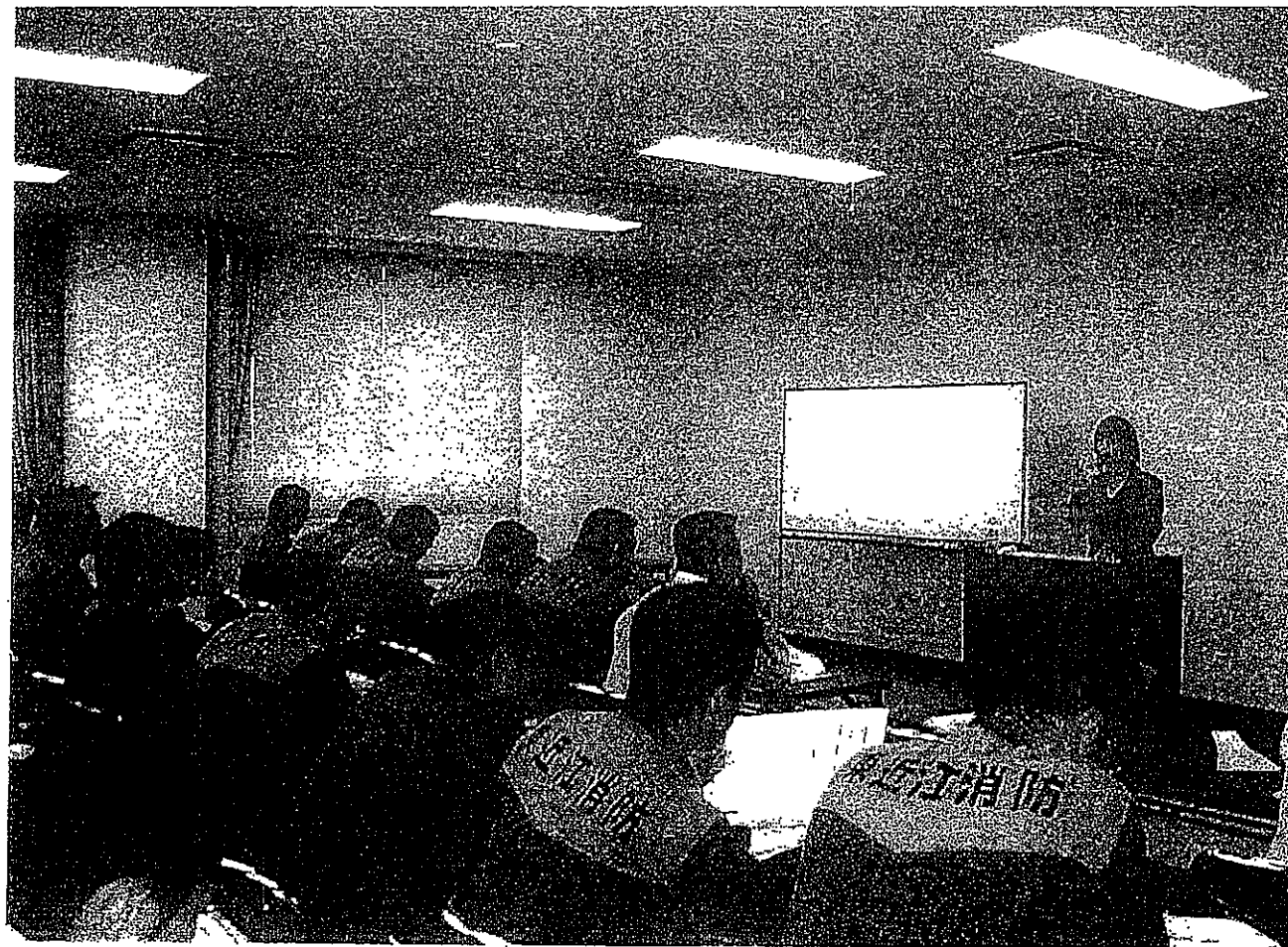
○認知症は決して特別なことではないと分かった

○適切なかかわりが大切

○親が認知症になっても働き続けられる希望がもてた

○職場で開催してもらって参加しやすかった

消防署の場合



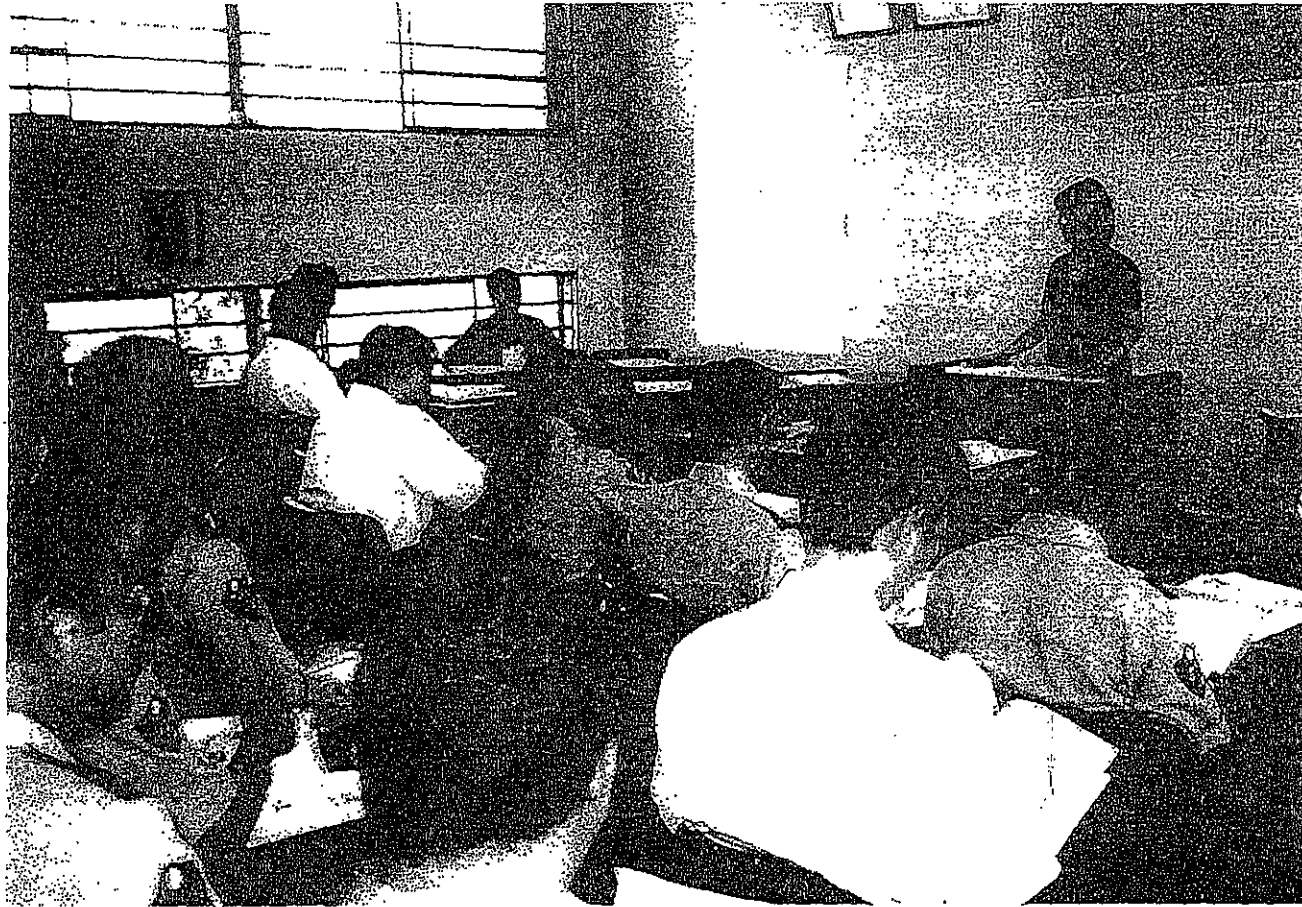
【アンケートの感想】

○救急対応は1分1秒を争うので、認知症の方の対応がスムーズにできることが救命に繋がる

○制服やヘルメットは威圧感や不安を与えるかもしれないので検討が必要

○救急現場では家族も興奮しているので、自分たちがより正確な知識を持って対応しなければならないと思った

警察署の場合(1)



【アンケートの感想】

○徘徊する高齢者を保護する際の接し方の参考になった

○徘徊、被害妄想、物取られ妄想等で日常対応することが多いが、警察だけでなく関係者との連携の必要性を感じた